

# 合気道春季講習会

## 東道北 関北海



毎月10日発行

発行所

東京都新宿区若松町17番18号 (郵便番号162-0056)

公益財団法人 合気会

(合気道本部道場)

編集人 可児 晋

電話 03 (3203) 9236 (代表)

FAX 03 (3204) 8145

購読料

1ヵ年 2,500円

郵便振替

00150-0-49527番

ご購読は、なるべく上記振替口座をご利用下さい

### 道歌

山水に

あたりで立たぬ  
あはれこそ  
清くことふる  
人もなければ

### 関東学連

関東学生合気道連盟第40回合気道春季講習会が3月14日から15日に日本武道館研修センターにて開講され、計21校、1336名の学生が参加しました。今回の春季講習会では小山雄二本部道場指導員が指導にあたり、新入生を迎えるにあたって参考になる稽古を行いました。

1日目は、受け身の練習や転換、呼吸法といった基本の技を中心に学びました。新入生が怪我をしないために、いくつか段階を踏んで受け身を練習し、筋力がない新入生にはどのような対応をすべきかなどを教えて頂きました。基本技では、受けがしっかりと取りつかみ、取りの動きに柔らかなついでいくこと、体の使い方などを意識しながら稽古をすることが出来ました。また夜には学生同士の親睦会も行われ、特に多くの新入生を獲得した大学には新入生歓迎の方法を発表するほか、各大学の近況報告も行い大変有意義な時間を過ごしました。

2日目は、前日の受け身の復習から始まり、膝行といった基本動作から稽古を始めました。教技や入り身投げなどの基本技を丁寧に指導いただきました。動きの意味を教えて頂いたことで、参加者は技の中で動きの意味を考えながら稽古をすることができました。



新入生への指導法を中心に稽古

平成28年度北海道学生合気道連盟春季講習会が3月18日、19日の2日間にわたって札幌市中央体育館にて日野皓正本部道場指導員指導員による稽古の下開催されました。加盟校5校から62名の学生が参加しました。

### 北海道学連

講習会は2日間とも前半に新入生への指導の方法に、後半では前半の内容をもとに、発展的な指導の方法の稽古を行っていただきました。新入生への指導に関連した基本的な稽古では、座った状態で受身から始まり、徐々に立った状態へ姿勢を変えていけるような受け身の練習を行いました。また、相手の手の持ち方や結びの意識など合気道の基礎となる部分についても指導いただきました。後半には、前半に教わった受身や結びの意識を大切にしながら様々な技をかける、受け稽古を行っていただきました。2日目は横面打ちの打ち方や捌いた後のつなりの意識や、お互いに手の平を合わせて相手を押したり引いたりするといった結びの意識を高める練習も行いました。

### 合気道学校開講式 40名が入校

平成29年度合気道学校開講式は、4月1日(中級)、3日(初級)、4日(上級)にそれぞれ行われ計40名が入校しました。

開講式で植芝守中央校長は、担当講師の動きを見て、教えをよむ聞き、合気道の心ならずよりの良い社会生活を過ごしていただきたいと思いを述べ、挨拶を述べた。担当講師の紹介の後、第1回目の稽古に移った。

各課程の講師は次の通り。上級課程 小林幸光、桂田英路両本部道場指導員、中級課程 鈴木俊雄、小山雄二指導員、初級課程 関昭二、金澤威両指導員。



開講式で挨拶する道主

合気道学校は、各課程を通じて合気道の実技と理論を身に付けられるよう基礎からカリキュラムに沿って指導される。それぞれの課程で8月下旬まで38回の稽古が行われ、所定の課程修了者には修了証のほか、昇段審査の上、初級課程は四級、中級課程は二級、上級課程は初段まで授与される。

### 第55回全日本合気道演武大会

第55回全日本合気道演武大会は、5月27日(土)、東京・千代田区の北の丸公園内の日本武道館で開催されます。当日は午前11時開演、正午開会、午後5時閉会の予定。一般の参観者歓迎、入場無料です。

【個人演武】植芝守中央道主、本部道場師範、地域道場師範らが出場。後援 日本合気道連盟、(公財)日本武道館、NHK、朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社、協力 全日本合気道連盟

### 29日に合気神社大祭

「合気神社大祭」は4月29日(昭和の日)茨城県常陸市(旧常陸町)の合気神社で執り行われ、午前11時から大祭、開祖慰霊祭、二代道主慰霊祭と続き、神事の後、植芝守中央道主の挨拶、奉納演武が行われ、正午過ぎに祭典は終了する。その後、直会が開かれる。

### 偲ぶ会は26日に

合気会は恒例の「開祖偲ぶ会」を4月26日の午後7時から本部道場で開催する。開祖と吉祥丸二代道主を偲ぶ映像を上映した後、直会の予定。

### 東北学連

東北学生合気道連盟春季講習会が3月25日、26日に仙台市にて開催されました。講習会では本部道場より梅津翔本部道場指導員指導員をお招きし、新2、3年生を対象に、新入生を迎えるために必要な基本的なことを指導いただきました。加盟校7校33名が参加しました。

### (公財)合気会理事会開く

(公財)合気会の理事会は、3月17日午前11時より本部道場三階で開催された。

植芝守中央道主より「本日はご多用の中、お集まり頂きありがとうございます。近年ロシアを始めとする東欧、南米の国々の非常に幅広い活動から今後には会として、アフリカ、中央アジア、中南米という国々にも積極的に普及振興を図っていかねければと思っております。東南アジア巡回指導は昭和51年から始めましてもう40数年が経っております。その積み重ねが現地の方から派遣要請が来るような状況にまで来ております。この



3階大道場で行われた

れからも合気道の発展途上の国々にも積極的に活動を続けていきたいと思っております。また国内の中学校武道必修化におきましては、次の指導要領の改訂で合気道という文言が明記されます。我々は指導者や地域連盟と結びつきながらしっかりと歩んでいきたいと思っております。と同時に開祖植芝

盛平翁の作られた合気道の精神、吉祥丸二代道主が普及振興に心血を注いだ気持ちを大切に、道を間違えないようにしっかりと進めていくことが我々の責務であると思いを進んでいきたいと思っております」と挨拶。植芝守中央理事長が議長に選出され、議長を務めた。次に、定足数の確認が金澤威総務部長よりなされ、議事録署名人は理事会の議長である植芝理事長と員国鎮、八塚南海夫両監事が選出された。審議事項として、平成29年度事業計画案、平成29年度収支予算案、理事長・専務理事・常務理事の職務執行状況の報告、評議員会の開催が審議された。

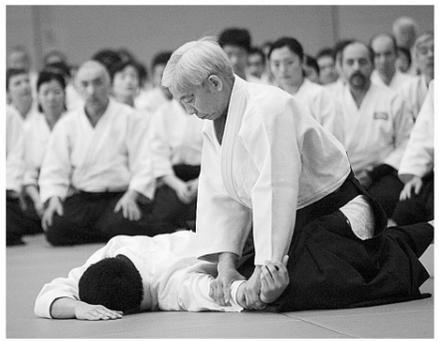
### 入身転換

春本番となり、各地で盛んに桜まつりが催されている。桜はやはり満開になると一段と美しさを増す。散り際も素晴らしい。散り始めてからも花吹雪や、堀や川に浮かぶ花筏(はないかた)を見て楽しめる。今や、世界各地に日本の桜が植えられている。中でもワシントン州の桜は百年以上前に日本から贈られたものだ。ポトマック河畔で毎年見事に咲き誇る日米友好のシンボルになっている。そのワシントンではトランプ大統領が次々と新たな大統領令に署名している。先月末にはオバマ大統領が進めていた地球温暖化対策の規制を見直し石炭産業を復活させる大統領令に署名した。炭鉱労働者に仕事を与えたいというだけでなく地球環境の悪化を無視する政策に米国の環境団体が猛反発している。CO2の排出規制に関係なく石炭産業は立ち上がれない状況だ。安価な天然ガスなどと比較して石炭は既に競争力を失っているからだ。

トランプ大統領の政策に不透明感が増しているようだ。大統領が署名したイスラム圏からの入国制限令が一時差し止めになったり、大統領選挙の公約であったオバマケア(医療保険制度改革法)の代替法案が議会の支持が得られないとして撤回されたりしている。目玉の大幅減税やインフラ投資も財源不足で全く進んでいない。米国内政界に膨らんでいた期待も少しはみ減っているようだ。日本では先週、日銀が企業景況感に四半期連続で改善していることを発表し、どこが先行きについて企業は慎重であるとのことだ。トランプ大統領の次の手が、貿易や為替の面で日本にとっての外圧になるのだろうか。(可児 晋)

# 相生会 三田道場 20周年記念

相生会合気道神戸三田道場(代表堀井悦二七段)設立20周年記念行事は3月5日、兵庫県三田市の駒ヶ谷運動公園体育館にて植芝守央道主を招聘し開催された。参加者は国内から23団体340名、海外から10団体110名、合計450名にのぼり、多くの方々にご参加いただいた。



演武場門下生が演武を行い、次に海外招待演武としてアジア、ヨーロッパからの参加者が演武を行った。国内道場の賛助演武、招待師範演武と続き、堀井師範の演武が行われ、最後に植芝守央道主による総合演武が披露された。演武大会の後には、門下生代表者から道主に花束が贈呈され、講習会・演武大会は華やかな雰囲気の中に中締めを迎え、参加者は大変有意義な時間を共にすることができた。

親睦を深めることができ。翌六日は堀井師範指導による講習会が行われ、日程を終えた。(相生会門下生 藤田隆亮)

## 国際セミナー

第29回国際武道文化セミナーが3月3日から5日まで日本武道館研修センターにて行われ、日本在住の外国人を中心として86名が参加した。本セミナーには現代武道9道から講師が派遣され、合気道では専門委員として沢尻威本部道場指導部師範、助手として森智洋本部道場指導部師範が派遣された。

平成28年度合気道錬成講習会が3月25日、綾瀬の東京武道館で行われ59名が参加した。本部道場から金澤威指導部師範、藤巻宏指導部師範、森智洋指導部師範がそれぞれ約2時間ずつ講習を行った。



藤巻師範の転換法の指導。師範は相手との繋がりを意識する必要性を指導され、呼吸法や二教等を稽古された。15時から金澤師範による稽古が行われた。金澤師範は最初、足の運び方や体捌きを指導され、その流れから四方投げや一教、入り身投げ等の技に繋げる稽古を展開された。

稽古終了後、長館長から参加者に修了証が授与された。参加者にとって長時間の稽古となったが、どの師範の時間でも集中して意欲的に稽古に励んでいた。

## 演武大会賛助会費のお願い

(公財)合気会では「第55回全日本合気道演武大会」の開催に際して賛助会費のお申し込みを下記のようにお願いしております。

記  
会 費：1口(1万円)以上  
申込先：(公財)合気会  
〒162-0056 東京都新宿区若松町17-18  
電話 03(3203)9236  
三井住友銀行新宿通支店 当座1015007  
郵便振替 00150-0-49527  
公益財団法人 合 気 会

# 盛大に武道振興大会



合気会役員ら17名が出席

武道振興大会は3月1日正午から東京・永田町の憲政記念館で開催され、合気道からは植芝守央道主をはじめ、多くの関係者が参加された。

はじめ、(公財)合気会役員ら17名が出席した。大会は三藤芳生(公財)日本武道館理事・事務局長の司会で進められ、北川知克武道議員連盟理事・事務局長の開会の辞で始まり、高村正彦武道議員連盟会長と松永光日本武道協会の(公財)日本武道館会長から主催3団体代表挨拶があった。

続いて安倍晋三内閣総理大臣の祝辞文が披露された後、大島理森衆議院議長と伊達忠一参議院議長より来賓祝辞があり、各武道団体代表者による挨拶に移った。合気道からは植芝道主が「合気道は現在、国内外

共にしっかりと歩んで来たと語り、国内外活動に励み、昨年の群馬県高崎市に於きまして第12回国際合気道大会を開催致しました。70の国と地域から6日間延べ12000名の会員の方々が集まり、講習会と演武会を盛大に行うことができました。今後は合気道の普及が発展途上であるアフリカ・中央アジア・中南米等の国々にも積極的に普及を働きかけていきたいと考えております。

また、国内活動にしましては、平成24年度から武道が中学校の正課になりました。合気道の採用校はまだまだ少なく、今後は学校関係者の方々をはじめ、より多くの方々に合気道へのご理解を更に高めていただけるよう努めて参りたいと思っております」と述べた。

その後、日井日出男(公財)日本武道館理事長の乾杯の音頭で親睦会が和やかに行われた。

## 神奈川県連

神奈川県合気道連盟は3月18日、本部道場指導部師範の菅原繁先生を講師に迎え、第4回講習会を開催しました。

当日は稽古にちよどよい気温の中、47団体、190名の参加者が神奈川県立武道館に集合し、400畳の道場をいっぱい使った稽古となりました。

開会式の後、菅原師範による2時間の講習会が行われ、稽古を行いました。菅原師範は休まず道場内を廻り御指導にあたり、多くの参加者が

午前11時半から約1時間半行われた道主講習会は、転換法や基本動作から始まり、正面打ち、横面打ち、片手取りなどの取り方から、一教や小手返し、四方投げなどを指導され、技が変化しても基本の体捌きは同じである事を丁寧に説明された。参加者は真剣な眼差しで道主の御指導に見入り、450畳の会場は稽古生の熱気で溢れていた。

演武大会は午後1時から約2時間にわたって行われた。小林友是実行委員長による開会の辞、堀井師範の主催者挨拶に続き、道主より祝辞があり「合気道の輪は世界に広がっていますが、日本国内のさらなる充実も大切であり、今後も相生会の益々のご発展を祈念します」と挨拶された。また、来賓には森哲男三田市長はじめ、多くの方々が来訪された。

その後、場所を三田ホテルに移して260名の参加で祝賀会を開催し、互いに

3日間のセミナーでは実技と講義が行われ、実技では各道の講師による講師演武会、自分の専門種目の武道を稽古する実技研修が2回、専門外の種目を稽古する体験武道が2回行われた。講義では奈蔵久世界空手道連盟事務局長による「空手道・武道としての空手とオリンピックスポーツ

としての空手」、腹巻宏一柔道学習塾「紀家塾」代表の「武道への想い」が行われた。空手道のオリンピック競技への採用をテーマとする奈蔵先生と地元和歌山市で地域に根ざしてイノベーションを行い、新たな町道場の形を積極的に模索する腹巻先生、グローバルとローカルの両面からの武道論はまさに現代に即したものであった。また参加者発表と

して4名が「武道への想い」を発表した。

最終日には木村恭子天道流第17代宗家とそのご一門による天道流の講義、演武体験稽古が行われ、参加者は皆、貴重な経験をされた。本セミナーでは講義、研修等々、各道の先生方の深い知見や人を引き付ける話術や、その根幹となっている素晴らしい人柄に非常に感銘を受けた。何を守り、何を新しくするかの模索に積極的に挑戦している姿は多くの参加者の心に響いたであろう。

閉会式後、会場を県立武道館近くのソシア21に移し、懇親会が開催されました。はじめに武田義信連盟理事長より「菅原師範の御指導により、みな笑顔で稽古できる素晴らしい講習会とすることができました。誠に感謝しております」とのご挨拶があり、続いて菅原師範より「こうした機会をぜひ今後とも継続して頂ければと思います」との御言葉を頂戴した後、白坂英男連盟副理事長により乾杯となりました。参加者一同は和やかな雰囲気の中相互の懇親を深めあい、最後に五十嵐和男連盟副理事長のご挨拶にて閉会となりました。

今回の講習会の開催にあたって、菅原師範、運営に御協力頂きましたAKI、桜合合気道クラブ、AIKI健康CLUB、相模原市合気道連盟の皆様、(公財)



23名の現役部員が参加

## 創部60周年記念 明大ハワイ合宿

明治大学体育会合気道部は、創部60周年を記念し、2月26日から3月8日まで、ハワイ・ホノルルで合宿を行いました。合宿には、荒谷博部長、五十嵐和男監督、荒井清コーチ、23名の現役部員が参加いたしました。合宿中は、カイル道場(トミー先生)、ホノルル道場(沖本先生)、又アノ道場(ランディー先生)の3道場で計6回の交流稽古を行いました。

カイル道場は海が目の前に広がる景色の良い場所でした。ホノルル道場は東大寺本堂の畳の上で、厳かな雰囲気の中で稽古をしました。又アノ道場は1959年に、アメリカのYMCAで初めて合気道の稽古が始まった場所であり、合気道の歴史を感じました。ハワイでは、一般海外旅行者らしくお願い致します。(明治大学体育会合気道部主務 石田彩乃)

## ハワイで指導

私(鈴木)は、2月17日から28日にかけて、ハワイのホノルル及び、ハワイ島のヒロで指導を行った。

17日から20日は、ヒロ道場で8回の講習会、13道場54名が参加した。21日から24日はホノルルにある東大寺で稽古。25日は、YMCAにて子供クラス、大人クラス。26日は、YMCAで4回、6団体30名が稽古。(本部指導部指導員 鈴木俊雄)

# 東南アジア巡回指導

## カンボジア

桜井寛幸本部道場指導部師範と私(松村)は、東南アジア巡回指導の一環としてカンボジア(プノンペン、シエムリアップ)に2月23日から3月3日まで派遣された。

プノンペンにはJICAからシニアボランティア(以下SV)として大村信夫氏、有田一比呂氏が派遣され、またSVOBの金子信一氏も協力を駆けつけて下さった。またシエムリアップにはSVOBの森修一氏が滞在されている。4名の方々は今回の巡回指導において多大なる協力を



シエムリアップの稽古風景

いただいた。2月23日から28日までプノンペンに滞在し、市内のオリンピックスタジアム内の道場で1時間半の講習が6回行われた。その中で審査が行われ、初段に1名が合格した。24日にはJICA及びカンボジア教育青年スポーツ省、27日には在カンボジア日本大使館に表敬訪問を行った。26日午前、日本大使館とCJCC(カンボジア人材開発センター)が共催する絆フェスティバルが開催された。その中で空手道、剣道、居合道、カンボジア伝統武道のボカトなどの演武が行われ、合気道も現地の会員とともに演武を行った。



堀之内大使(右から2人目)を表敬訪問

私(佐々木)は3月3日から7日まで中華人民共和国(上海・杭州)にはまだ時間が必要であり継続的な普及活動を行っていくことが重要であると感ずじた。(本部道場指導部指導員 松村光)

中国(上海・杭州) 私(佐々木)は3月3日から7日まで中華人民共和国

28日にシエムリアップに移動した。ここでは1時間半の稽古が4回、少年部の45分の稽古が2回行われた。2日には審査が行われ、初段に2名が合格した。今回の巡回指導の中で発展するカンボジアの現状を垣間見ることができたが、合気道が普及発展していくにはまだ時間が必要であり継続的な普及活動を行っていくことが重要であると感ずじた。(本部道場指導部指導員 松村光)



佐々木師範の入身投げ

国の上海市と杭州市に滞在し、(公財)合気会主催のアジア巡回講習会で稽古と昇段審査を行った。稽古には約40名が参加、年齢の若い会員が多く、活気に満ちた稽古を繰り返していた。

4日は上海国際合気道愛好会の中山公園道場で稽古と昇段審査が行われた。稽古には上海の会員だけでなく、杭州、寧波、蘇州等からも参加があり、約140名が集まった。こちらも年齢の若い会員が多く、熱心に稽古を繰り返していた。

5日は杭州市へ移動、杭州合気会の樹人小学道場で稽古と昇段審査が行われた。稽古には杭州の会員だけでなく、寧波、蘇州等からも参加があり、約140名が集まった。こちらも年齢の若い会員が多く、熱心に稽古を繰り返していた。

ただでなく寧波、上海からも参加があり、約60名が集まった。昨年までは上海市のみの訪問であったが、寧波のUNCA(大学)に合気道クラブが創設される等、中国華東地区の合気道も発展して来ており、また寧波からは上海と遠隔地であるが、利便性も踏まえつつ今回の訪問が実現した。

6日は再び上海市へ戻り、上海合気会の楊浦道場で稽古が行われた。参加者数は約30名。こちらは審査が終わって緊張が解けたのか参加者達の表情も明るく、終始和やかな雰囲気の中で稽古が行われた。

今回の巡回講習会にあたり、前回同様運営全般にご尽力下さった上海国際合気道愛好会の野倉國良・昌子ご夫妻に深く感謝の意を表したい。(本部道場指導部師範 佐々木貞樹)

中国(北京) 私(鈴木)は、3月17日から20日にかけて、東南アジア巡回指導の一環として中国北京を訪問した。18、19両日、新恒基ビル17階のフロアに畳を敷いて、計5回の講習会が行われた。

直前に、天皇皇后両陛下のハノイ訪問を控え、打ち合わせなど忙しい最中に講習会の為御尽力をいただいた、フイフォンラン氏及び通訳のレイクアンフ氏には、特に、感謝を申し上げたい。お二人を中心に、ハノイ合気会のメンバーのサポートを受け、快適な環境の中で講習会をおこなう事が出来た。

ハノイの合気道は、ハノイ合気会及び勇気修道館によって活発に活動がなされ

中国(北京) 私(鈴木)は、3月17日から20日にかけて、東南アジア巡回指導の一環として中国北京を訪問した。18、19両日、新恒基ビル17階のフロアに畳を敷いて、計5回の講習会が行われた。

直前に、天皇皇后両陛下のハノイ訪問を控え、打ち合わせなど忙しい最中に講習会の為御尽力をいただいた、フイフォンラン氏及び通訳のレイクアンフ氏には、特に、感謝を申し上げたい。お二人を中心に、ハノイ合気会のメンバーのサポートを受け、快適な環境の中で講習会をおこなう事が出来た。

ハノイの合気道は、ハノイ合気会及び勇気修道館によって活発に活動がなされ

フランス合気道開拓者語る会満席

4月22日パリ日本文化会館に於ける式典、23日パリ柔道協会栗津大蔵記念道場における気の錬磨、日本舞踊の会、大先生の杖を学ぶ会、各部門とも予約満席となりました。ここに、ご協力を感謝申し上げます。

合気会本部師範多田宏 パリ事務局服部恵美子

ハンガリー(ブダペスト) 私(栗林)は3月9日から3月14日まで、ハンガリー合気会主催講習会の為、首都ブダペストを訪問。今年で9回目のハンガリーでの講習会となる。10日の講習会となる。10日の有段者稽古を皮切りに、11日、12日は午前、午後各2時間の講習を行った。例年通り、ハンガリー各地はもとより、ヨーロッパ各地から150名程の参加者が、合気道の稽古を通して国境を越えた交流をした。12日夕方からは昇段審査を行い、新たに1名の四段位が誕生した。講習の合間を縫って総会も行われ、今後ハンガリー国内におけるさらなる合気道の普及・発展に向けて活発な意見交換がなされた。(本部道場指導部師範 栗林孝典)

インド(チェンナイ) 私(小山)は2月16日から20日まで巡回指導の一環としてインド(チェンナイ)へ派遣された。16日に成田を出発し、17日にチェンナイ国際空港に到着。合気道オプチュニティの代表カウタム・ラムタス氏が迎えに来てくれた。17日から19日までの3日間で行われた講習会には大人約25名、子供20名が参加。稽古は1時間半の大人クラスが5回と1時間の子供クラスが2回行われた。19日には昇段審査が行われ、全員合格した。

インド国内で徐々に合気道の道場ができてきたとしており、これからインドの人口も相まって加速度的に普及すると思われる。合気道普及発展において素晴らしいことであるが、基本を大

ラオス(ビエンチャン) 私(内田)は、2月24日から27日にかけてラオス(ビエンチャン)の巡回指導の一環として講習会指導を行った。

講習会はラオス(ビエンチャン)にて25日、26日1時間半の稽古を2回ずつ行われ、30名から50名の会員が参加した。

27日にはスポーツ局(日本文化科学省)にあたる組織)への訪問と、JICAへのセミナー報告を行った。

今回の訪問で特に印象に残ったことは、10代後半のメンバーが合気道へ大変意欲的に取り組んでいたことだ。彼らは少年部から稽古

ベトナム(ホーチミン) 私(入江)は、3月10日から13日までベトナム社会主義共和国・ホーチミン・シティを訪れ、指導部古と昇段審査を行った。

10日午前1時半に羽田空港を発ち、午前6時に現地空港に到着。空港でホーチミン・シティ合気道協会のヴァン・リン、パット両氏の出迎えを受けた。ホテルのチェックインを終え、朝食を取りに移動、



ベトナム名物のフォーをいただく。やさしい味わいでとても美味。バイクの群衆とフォーで気分はすっかりベトナムモードになった。

ホテルに戻り、ヒープ会館とミーティング。現地における合気道の現況報告を受け、講習会と昇段審査についての打ち合わせを行った。報告によるとホーチミン・シティ合気道協会傘下の団体数は45団体、会員数は5000人余。今回の受審者は66名を予定。同日午後3時から1回目の昇段審査を行った。受審者は初段40名、二段13名。約3時間かけて全員に合格を出した。

習日から2日間2時間の講習を3回行った。会場はフウ・トー体育館、参加者は160名。

審査を対象とした講習内容で基本技を中心に行う。最後に2回目の昇段審査を行った。受審者は三段9名、四段4名。大半が地元の指導者として初段、二段の受審者より動きが明らかによく、全員合格した。

ホテルチェックアウトの後、協会役員らと食事会。ヒープ会長によると来年は

さらに多数の受審者を予定しているとのこと。短い滞在ではあったが、ベトナムの方々と元気をいただいた。同日の深夜便で帰国の途に就いた。(本部道場指導部師範 入江嘉信)

ベトナム(ハノイ) 私(難波弘之)は、2月24日から27日までベトナム社会主義共和国のハノイ市へ巡回指導の一環として講師として派遣された。24日に、ノイバイ国際空港で、

フイフォンラン氏(ハノイ合気会代表)らの出迎えを受けた。

青少年スポーツセンターにて、1時間半の稽古を計4回行い、ハノイ合気会加盟団体及び勇気修道館より計約100名が参加。

講習会では、片手取り、両手取り、肩取り、正面打ち、横面打ちの基本技を用いて、力みの無い自然体で柔らかく相手を感じて動くことを目標として稽古指導をおこなった。

直前に、天皇皇后両陛下のハノイ訪問を控え、打ち合わせなど忙しい最中に講習会の為御尽力をいただいた、フイフォンラン氏及び通訳のレイクアンフ氏には、特に、感謝を申し上げたい。お二人を中心に、ハノイ合気会のメンバーのサポートを受け、快適な環境の中で講習会をおこなう事が出来た。

ハノイの合気道は、ハノイ合気会及び勇気修道館によって活発に活動がなされ

を続けており、5年前に訪問した際にはまだ少年部で稽古をしていた子達である。現地で指導にあたっては、現地の指導者、モリ、またシニアボランティアの安江氏がしっかりと指導を行っていることが窺えた。

今後、ビエンチャン以外の地域でも合気道の普及を行いたいと思ふ話もあ

から、このラオス合気道の発展が楽しみである。(本部道場指導部指導員 内田直人)

◆本部だより

▽小林幸光指導部師範は、4月6日から11日までエヌトニアに派遣された。

▽伊藤眞指導部師範は、4月13日から18日までロシアに派遣される。

▽桂田英路指導部師範は、4月14日から25日までフランスに派遣される。

▽関昭三指導部師範は、4月19日から24日までロシア、4月30日から5月5日までポーランドに派遣される。

▽菅原繁指導部師範は、4月20日から24日まで香港、5月3日から9日までロシアに派遣される。

▽入江嘉信指導部師範は、4月21日から26日までアイランド、5月3日から9日までスイスに派遣される。

▽栗林孝典指導部師範は、5月4日から9日までアゼルバイジャンに派遣される。

渡邊弘氏(防衛省合気道連合会師範)3月24日逝去享年85。

# 各道場の昇段者

29年 2 月 10 日 ~  
29年 3 月 14 日  
(公財)合気会登録

### 【四段】

◆本部道場=長井貞利◆長野合気会=市川久司◆ひたちなか合気会=阪本善彦、R.Khirabad◆沖縄合気会=M.Callender◆三田会研修塾=加藤誠、森永喜司雄◆山形寒河江道場=齊藤徹◆小俣合気道会=小山哲史◆萬葉塾=井倉克頼◆我孫子合気会=横山高弘◆東海大学望星学塾=清野北斗◆立正大学=小山一聖◆AUSTRALIA=C.Saville、A.Reekie◆SWEDEN=L.Niklasson◆SPAIN=A.Rodriguez、M.Claveria、R.Vivas、A.Remirez◆FINLAND=E.Makinen◆U.S.A.=O.Hawkins、F.Mautz、J.Vaughan、R.Wardell、G.Kongo◆RUSSIA=N.Sultanova、V.Lugovov、A.Shmidt◆BRAZIL=M.Maltauro、L.Oliveira、O.Rosler◆VENEZUELA=J.Nunez、F.Guban◆MACEDONIA=P.Milanov◆BULGARIA=L.Denton◆URUGUAY=H.Gollo、F.Albornoz◆ITALY=P.Spagone

### 【参段】

◆本部道場=桐生公男◆瀧田塾=田中彰◆源氣会=川島正弘◆可児道場=甲斐敏満◆ひたちなか合気会=根本馨、佐藤里恵◆愛媛合気道塾=七五三明日香◆沖縄合気会=H.Schulke◆桶川愛気会=古嶋俊明◆群馬合気会=萩原隆彦◆経済産業省=山本一◆高伝館=大屋貴洋◆合心館谷本会=長多健祐◆山形新庄道場=田中幸彦◆小林道場=吳昱錕、宋波、尚城君◆神武館=徳田昌史、後藤秀規◆杉並合気会=R.Bohlin◆明治神宮至誠館=F.Connin◆合気道光道場=松崎翔一◆萬葉塾=中川勝紀◆我孫子合気会=隈田原盛淳、平涼一◆白太館=張田高康◆紀州熊野合気会=F.Benavides◆國學院大學=駒田淳◆BRAZIL=M.Oliveira、C.Barbosa、M.Brodt◆AUSTRALIA=M.Surman、A.Margetts、P.Connor、A.Leong、A.O'Connor、A.Lee◆ARGENTINA=M.Schneider、L.Micchele、M.Vic、E.Canduci、A.Gomez、F.Calleja◆NETHERLANDS=増田貴子、W.Straalen◆EGYPT=E.Samy、M.Mobdy◆SLOVENIA=P.Fistrovic◆SPAIN=A.Munoz、J.Camio、R.Pons、C.Gravan、L.Lin、D.Velasco、P.Radua、L.Anton、R.Martinez、J.Contreras、E.Vaquero◆MOROCCO=A.Aannaque◆HUNGARY=Z.Toro、K.Gal◆OMAN=R.Conn◆U.S.A.=J.Naranjo、K.Godwin◆U.K.=A.Ghosh◆RUSSIA=E.Kosolapov、I.Bondarenko◆GREECE=C.Papadimitriou、D.Iliopoulos、T.Kalogiannis◆POLAND=Z.Kosior、M.Waga◆BULGARIA=W.Kyes、J.Tanaka、C.Johnson、D.Hadjiev◆PARAGUAY=M.Chaparro◆SWITZERLAND=T.Lutter、A.Stooss◆FRANCE=J.Parny◆ITALY=F.Tondo、C.Perani◆中国=高貝諾

### 【武段】

◆本部道場=神田英昭、小山由美、宮本耕平、M.Wiegand◆道文研究会合気道上野芝道場=坂根愛佳◆白岡合気会=境澤裕介◆NHK合気道部=耕田豊◆ひたちなか合気会=益子正和、齋藤幸生、福田忠夫◆武友館袋井合気道場=平出和明◆茨城県合気道連盟=B.Raman◆曙合気道クラブ=川尻勝敏◆沖縄合気会=A.Shepel◆熊野塾=Y.Bercher、N.Vecchio、F.Muehlemann◆群馬合気会=鈴木今朝夫、萩原一樹◆合気道彩新道場=平野将昭◆合心館谷本会=春名純一◆小俣合気道会=三好光明◆小林道場=J.Kristbjornsson、R.Helgesen◆祥平塾=岩

下侑李香◆城南合気会=岩崎俊丈、古賀悠紀、矢鋪祐司◆神気館=冨田泰光◆神武館=永田一裕、犬塚敏彦、榊原茂之、伊藤暢祐、北出百莉亜、松田彩花、安藤直輝◆足立合気会=屋間直樹◆大阪合気会=川中智司、C.Alan◆合気道大阪道会=木崎寿夫◆大阪武育会=中井祥人、中野直紀◆武育会岡山県支部=松井幸夫、後藤直子◆中野区合気道会=山本勇、J.Dorsey◆柏合気会柏道場=中山慧香◆合気道白河道場=塚本睦、滝沢和博◆明治神宮至誠館=I.Cena◆蓮田合気会=持木恵◆萬葉塾=初田虎仁、松村博幸、北浦篤◆我孫子合気会=茨城和朋、石井彰◆大阪誠気館=永井達也◆合気道大和武育会=川下大五郎◆小牧合気会=小木曾寛哉◆紀州熊野合気会=H.Neumann◆愛知教育大学=池上諒、小出啓介、山田啓太◆国際武道大学=高山祐司◆埼玉大学=鶴賀久富◆上智大学(ソフィア合気会)=中原楓◆信州大学=遠藤明、土屋豪太◆東海大学=佐藤直碧◆東京農工大学=新城葵、永原紳吾、野崎淨信◆東京理科大学野田=前田哲也◆奈良教育大学体育会合気道部=吉田溪人◆南山大学=高岡寛音、渡邊華央◆法政大学=村上雄亮◆北海道大学=岩永優斗、岩間雄介、加藤絵梨子、小柳のぞみ、坂田武、長井一弘、野崎佑斗、左佳那、平塚隆寛、米永航志朗◆立正大学=安藤里央、魚谷卓海、鵜飼章弘、佐藤晴貴、永野葵◆國學院大學=須賀梓、渡邊杏奈、池田朱里◆BRAZIL=E.Yasui、G.Janino、R.Sampaio、M.Uehara、M.Mochizucki、J.Dias、N.Castro、V.Santos、I.Filho、G.Silveira、F.Silveira、T.Oliveira、M.Xavier、R.Camargo、A.Moresco、R.Silva、N.Silveira、J.IsidorioJr.、R.Borba、R.Farias、M.Valim、M.Bordignon、J.Mendes、S.Medeiros◆U.S.A.=A.Schlutz、M.Obrzud、C.Paul、M.Winter、R.Moulton、T.Brinkman、M.Smith◆AUSTRALIA=野口扶美子、J.Boydell、G.D'Agostino、I.Krol、C.Addison、W.Wilson、J.Claxton、A.O'Connor、C.Michell、J.Baker、R.Tabbara、T.Nguyen、S.Ahmad◆ARGENTINA=H.Gauna、F.Russo、A.Groppa、B.Gonzalez、M.Contreras、M.Alfonzo、R.Orelano◆SWEDEN=B.Stankovic、P.Nordstrom、F.Bjorhult、J.Liljedahl◆CZECH=J.Hradil◆EGYPT=H.Ali、M.Serafy、H.Dawki、M.Lateef、O.Shehata、A.Moniem、S.Riad◆SLOVENIA=A.Sobar◆SPAIN=A.Zuniga、M.Hernandez、D.Campos、A.Martinkorena、D.Beltran、J.Ellul、E.Pingol、J.Casado、S.Galea、I.Robles、D.Fernandez、A.Encina◆MOROCCO=A.Abril、S.Idrissi、M.Berdi、T.Youness、S.Tiouti、M.Radi、T.Bouzad◆FINLAND=M.Kankaanpaa、K.Korhonen◆HUNGARY=L.Toth、T.Vladovits、J.Pallag、M.Kiss、P.Szuttai◆RUSSIA=S.Ganichev、M.Muntyan、Y.Mishina、V.Nikitin、A.Epshtein、V.Kotusov、D.Simagin、A.Kupchenko◆U.K.=M.Slusarek、A.Thompson◆VENEZUELA=R.Revilla、G.Betancourt◆MACEDONIA=R.Milosevic◆URUGUAY=M.Silvera◆PHILIPPINES=E.Fallatah、A.Fallatah◆GREECE=E.Charchari◆INDIA=G.Ramdas◆FRANCE=O.Parny、S.Viraye、P.Beaufort◆SWITZERLAND=R.Peyvel◆ITALY=C.Casa、R.Sorrentino、F.Circiello、N.Bernardini、P.Martinengo、M.Firenze◆中国=駱明、邵晔、程焜、杨一琳、宋长建、庄以仁

### 【初段】

◆本部道場=鈴木教敬、奥津昭、岡田充広、森山史子、F.Re◆雄心会=井手拓郎◆人吉合気会=西航平◆野田市合気道同友会=松本秀朗◆合気道れんしん会=吉田雅美◆J1合気会=菅原尚◆ひたちなか合気会=水野谷修、市村崇◆愛媛合気道会=田村直巳◆一宮合気会=小島亮太◆一心館=P.Ford◆茨城県合気道連盟=相良史明◆沖縄合気会=H.Presente、B.Wittes◆熊野塾=S.Cullati、G.Marcomini、C.Carnazza、N.Bersenev◆群馬合気会=石関紗織、富澤真吾、永田晶啓、蜂巣史良◆月窓寺道場=新関春日◆桜台合気道クラブ=池田志乃◆山形新庄道場=八鍬裕司◆小林道場=E.Rislien、C.Johansson◆尚武館=覚野由美◆A.K.I.=N.Silverman、N.Gini、S.Galvis◆神武館=駒田一葉、田中大資、安藤亜寿哉、安藤公輝、宮原光彦◆杉並合気会=B.Hess、C.Hooper、R.Davde◆清進塾=伊藤聡美◆八戸道場=坂本久志、石澤佑太◆大阪合気会=澤渡昌利、トール真樹◆合気道大阪道会=植田允教、樺山哲也◆武育会岡山県支部=保西七成星、小笠原零士、藤田一雄◆大手前学院=近藤拓実、方永揚◆竹豊館=岩崎敦史、福田真樹、前山卓巳◆中野区合気道会=黄秋月◆よみうりカルチャー横濱=徳重知佳子◆柏合気会柏道場=田畑保男◆明治神宮至誠館=S.Borko◆蓮田合気会=成塚孝司◆合気道六合館=矢野俊博、矢野謙二◆萬葉塾=野村昌司、勝間哲平◆大阪誠気館=加藤潤一、中島茂樹、小玉雄一◆天心道場=M.Ferreira◆道学館=矢野萌◆山形工スポーツ合気道教室=鈴木美由紀、由良雅彦◆合気道誠武館=岡村琴音◆青森県武道館道場=笹恵美子◆紀州熊野合気会=D.Escolano、F.Roias◆菊水道場=首藤守哉◆山形七日町カルチャーセンター合気道教室=澤村正和◆東北学院榴ヶ岡高等学校=山内来夢、江崎雅公、氏家紗弥、金谷周、徳見直哉◆金城学院高等学校=伊東彩夏、櫻井真由、佐藤李々圭、服部弘美、蛭川華瑚、峯村菜々瀬、室岡菜里◆二松学舎大学附属高等学校=篠原紗奈、井上栞里◆千葉県立流山高等学校=日暮一葵◆愛知学院大学=西原鈴夏、永田るみ、岩月美加子◆駒澤大学=西川曜平◆広島修道大学=西原佑樹◆甲南大学=本村晴佳、東山京佳、原田瑞輝、浅井大輝、吉田弘樹◆国際武道大学=野中力樹◆山形大学=大川律子、本間詩織、松田澄子、松浦春香、丸井征敏、峯松亮秀◆上智大学(ソフィア合気会)=嶋田吉敬、阪口裕子、柳川修也、村井佑衣◆信州大学=木谷那津、岡部友峻、鈴木裕二、深田悠太、伊藤拓哉、菊原大志、美濃部大介、三橋昌朗、深山敦史、松尾風知、大島のぞみ、鈴木雛乃、小林春華、山口明日香、河原田麻結、小島実和◆新潟大学=田中諒◆千葉大学=志賀愛美、菊田駿、亀井絢也、茨木章康、池田興胤、原雅明◆大阪経済大学=村島佑実、松本修也、橋本勇輝、佐野佑久◆大東文化大学=高橋梨紗子、畠山光子◆東海大学=牧田朋子、佐藤美貴、勝亦浩史◆東京女子大学=唐澤七菜、大平裕美◆東京農工大学=東崇生、宇野翔吾、筒井瑞季◆東京理科大学神楽坂=荒内美沙子、斉藤雅和、山崎拓磨、田中拓己、吉田舜、松本青空◆東京理科大学野田=荒川元春◆東北大学=宍倉健太、大崎双葉、柳原創、武田陸◆二松学舎大学=今野琴音、大畑敦、姫野柚来◆日本大学生産工学部=稲本将貴、松本涼平、明山慎平、平田哲也、岩崎憂音◆日本大学生物資源科学部=田中敦也、千葉啓、加藤雄介、大友佳奈、郡司耕平◆法政大学=池田岳彦、川村哲也、

齊藤僚太、田苗千佳、田中郁哉、吉沼航輔、齋藤駿行◆日本大学合気道部=會田未来、影山桃子◆立正大学=森本美彩、町永小夏、仲渡琴音、神戸日南帆、谷本将隆◆立命館大学=本井建哉◆名古屋外国語大学=長谷部悠、山口瑞季◆BRAZIL=W.Silva、F.Azevedo、T.Tribess、D.Honda、J.PinaJr.、F.Carvalho、C.Marquardt、D.Camaratta、M.Moraes、A.Pinheiro、A.Barbosa、C.Neto、C.Barreto、D.Alves、G.Mendes、L.Barcelos、M.Gabardo、R.Braga◆U.S.A.=R.Nugent、T.Orban、S.Cunningham、S.Ginder、D.Mena、I.Wilson、M.Moulton◆GERMANY=T.Hoaghea、W.Frank◆AUSTRALIA=L.French、M.Mclaughlin、L.Nguyen、J.Samana◆URUGUAY=J.Quintana、G.Batista、P.Silvera、J.Armentano、M.Lambert◆ARGENTINA=P.Verta、D.Ehrlich、F.Leiros、G.Gutierrez、P.Quiroga、P.Rodriguez、G.Cruz、D.Bill、F.Vazquez、M.Novacousky、V.Martin、J.Grande、B.Blanque、C.Armella、A.Alfaro、C.Ponce、D.Bracamonte、E.Ferreyra、P.Diez、A.Padilla、R.Lopez、M.Sagra◆SWEDEN=P.Svensson、P.Stenberg◆CAMBODIA=上松裕士、竹森雅代、N.Basler◆CZECH=J.Prokop◆NETHERLANDS=S.Pichon、H.Meerenonk、D.Wekker、A.Oen、J.Dijkstra、J.Marks、B.Langendoen◆EGYPT=A.Fattah、M.Moneim、T.Aty、H.Hosein、H.Azab、M.Mabrouk、M.Fatah、M.Bary、A.Fotouh、S.Mourad、R.Deen、B.Moemen◆SLOVENIA=B.Kenda、N.Adzic、M.Bogataj◆SPAIN=A.Encina、J.Elicegui、M.Gurrutxaga、G.Prado、M.Calleja、F.Ochoa、S.Backhaus、M.Martinez、F.Izquierdo、A.Carreno、F.Montero、D.Gonzalez、J.Pinol、A.Valles、D.Melich、J.Alvarez、F.Espinal、J.Gravan、S.Basterra、G.Zapata、A.Lopez◆HUNGARY=F.Gyebnar、I.Kosztor◆U.K.=M.Hinds、I.Kozarewa、I.Tavori、E.Sabio、L.Tomlinson、T.Doxsey◆LIECHTENSTEIN=T.Huber、B.Laengle◆PHILIPPINES=L.Mouhamed、O.Suhamy、S.Alsuhaymi、U.Ogues、M.Alzahrani、A.Alhidary、L.Mouhamed、O.Suhamy、S.Alsuhaymi、U.Ogues、M.Alzahrani、A.Alhidary◆TATARSTAN=K.Zadoroznyi、I.Kolchin、K.Valeev、A.Dubrovnik◆VENEZUELA=S.Romero、J.Duran◆MACEDONIA=P.Dimoski◆RUSSIA=Y.Zavyalov、D.Zalyaliev、S.Prokopenko◆GREECE=O.Menegaki、M.Liapis、K.Petsinis、M.Gkirginoudis、E.Dimopoulos、G.Tranos、A.Oskoidou、C.Kalfas、K.Chatzopoulos、A.Godis、D.Vitis◆POLAND=P.Laczynski◆BULGARIA=A.Vlahonikolos、G.Levadaras、C.Mavridis、D.Macgregor、G.Choina、D.Katz、J.Norwoods、C.Petit、E.Rose、B.Fippinger、M.Nunez、M.Butler、P.Muhammad、R.Perk、E.Granej、A.Perk、A.Kalfoutzos、I.Traykov◆PARAGUAY=D.Alcorta◆ITALY=S.Risso、M.Castaudi、A.Mastrandoni、T.Iasiello、S.Raso、M.Firpo、D.Borella、F.Dagnino、D.Tondo、F.Zanone、A.Andreotti、F.Zaccaria◆FRANCE=S.Beaufort、C.Farquet、A.Mazzieri◆SWITZERLAND=S.Grande◆MOROCCO=R.Rikaoui、H.Mandour、M.Daghi、M.Moustad、Y.Jad、M.Balghiti、S.Kemmakh、T.Abougrazni、M.Arrahil、I.Hanafi、K.Sarhane、Y.Aribou、Y.Oudbib、H.Mouss、J.Alaoui、M.Fattah、Z.Agadi、A.Ouahbi、H.Bachiri、A.Roughi、Y.Sahim、M.Boufane、Z.Bouhouch、Y.Salaheddine◆中国=許子今、李晓兵、李凯伦、陈斌、闵印骏、呂玉晨、张新路、朱晓刚、包文斌、崔竹、黄莉莉、張昕遠、胡新兵、陳斌、鄧鹏飞